管理課

2023年度（令和5年度）
病院事業会計予算の概要について

管理課長　松岡　潔

●業務概要

当院は、高度急性期・急性期機能を担う圏域の基幹病院として、「救急医療」・「がん医療」・「高度専門医療」を大きな柱に、質の高い安全な医療の提供に取り組んでいます。

今年度は、その3つの柱の機能強化及び周産期医療の充実を図るため、本館の建替えなど増改築工事に着手するとともに、北立体駐車場を整備します。医療機器については、「手術支援ロボット」や「超音波診断装置」の更新などを行います。また、総合周産期母子医療センターの整備に向け、看護師・助産師を増員するほか、医療技術職員等についても増員し、医療提供体制を充実します。

引き続き、経営の健全化を図り、持続可能な病院経営を行っていきます。

（1）収益的収入及び支出

（単位：円）

区　分	2023年度予算額	2022年度予算額	増減額
病院事業収益	227億4,421万	217億8,405万	9億6,016万
医業収益	207億8,606万	202億3,951万	5億4,655万
入院収益	142億9,596万	137億9,700万	4億9,896万
外来収益	58億1,390万	56億8,771万	1億2,619万
その他医業収益	6億7,620万	7億5,480万	△7,860万
医業外収益	19億5,359万	15億3,806万	4億1,553万
負担金交付金	4億5,592万	4億4,565万	1,027万
国・県補助金	6億1,575万	1億9,795万	4億1,780万
その他医業外収益	8億8,192万	8億9,446万	△1,254万
特別利益	456万	648万	△192万
病院事業費用	230億3,820万	217億3,859万	12億9,961万
医業費用	220億　951万	209億5,244万	10億5,707万
給与費	100億3,023万	95億1,461万	5億1,562万
材料費	75億9,012万	73億5,660万	2億3,352万
経費	32億5,431万	29億6,855万	2億8,576万
減価償却費	9億7,701万	9億7,165万	536万
その他医業費用	1億5,784万	1億4,103万	1,681万
医業外費用	9億4,443万	7億5,310万	1億9,133万
特別損失	7,926万	2,805万	5,121万
予備費	500万	500万	—

（2）資本的収入及び支出

（単位：円）

区　分	2023年度予算額	2022年度予算額	増減額
資本的収入	35億4,972万	18億1,188万	17億3,784万
企業債	29億3,800万	12億1,000万	17億2,800万
負担金	6億1,172万	6億　188万	984万
資本的支出	52億5,111万	23億5,731万	28億9,380万
建設改良費	34億5,924万	15億3,258万	19億2,666万
企業債償還金	7億9,187万	8億2,473万	△3,286万
投資	10億	—	10億

●業務の予定量

1　病床数　506床
（うち感染症病床 6床）

2　患者数

(1)　入院　15万3,720人
（1日平均　420人）

(2)　外来　22万3,728人
（1日平均　920人）

ア　市民病院　22万3,560人
（1日平均　920人）

イ　加茂地区診療所　168人
（1日平均　7人）

3　主要な建設改良事業

病院増改築事業　24億9,874万円

有形固定資産購入　9億6,050万円
手術支援ロボット　ほか

●当初予算額

今年度は、収入では入院・外来収益の増加を見込むものの、支出では医療スタッフの充実に伴う給与費の増加や光熱費、薬品費および診療材料費の増加などを見込んでおり、収入を上回る支出の増加要因があることから、3年ぶりに収支不足の予算を計上しています。